

省資源・廃棄物削減

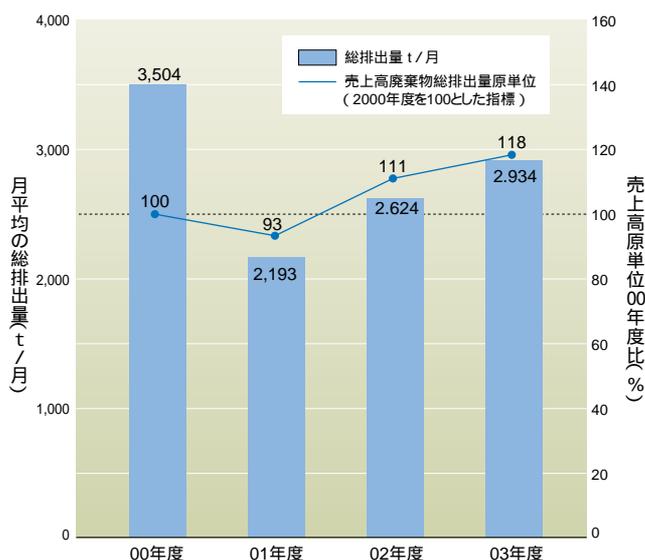
ムラタの事業活動にともなう廃棄物に起因する環境負荷をできる限りゼロに近づけるため、生産工程などを見直し、廃棄物の排出を抑え、再利用・再資源化を推進することにより、循環型社会の構築を目指します。

排出量削減(リデュース)

2003年度の廃棄物の月平均排出量は、国内で2,934t / 月、海外で400t / 月となっています。これまで2003年度末までの目標として、売上高廃棄物排出量原単位で2000年度比10%削減を目指し各種の取り組みを推進してきましたが、結果としては、国内で18%の増加となりました。2000年度以降、大幅な製品単価の値下がりが続いていることから、生産数量が増加傾向であるにもかかわらず、売上高が微増にとどまったことが主な原因となっています。

2003年度にゼロエミッションを達成しましたが、環境負荷のさらなる低減のためには排出量そのものを削減する必要があると考え、今後は排出量削減(リデュース)に重点的に取り組んでいきます。具体的には不良率の低減や原料の高効率使用などによる排出量を減らす取り組みに加え、発生した物を利材品として売却できるよう、分別方法の見直しなどにも取り組んでいきます。

廃棄物総排出量と売上高原単位2000年度比の推移(国内合計)



生産工程における洗浄方法の変更

「出雲村田製作所では、従来、洗浄による廃液が発生していましたが、技術部門および製造部門が連携、協力して実験・評価を重ね、品質を確保し、かつ洗浄を不要とする工法を開発できました。

この工法により、それまで排出していた年間約2,000tの洗浄廃液の削減を図ることができました。その他、二次的な効果として、薬剤の削減とエネルギーの削減も達成できています。」



水使用量の削減

限りある資源である水の使用量を削減するために、冷却水のリサイクルや洗浄水量の最適化などの水使用量削減に取り組んでいます。

これまで、各事業所・子会社の個別の課題としての取り組みでしたが、今後はグループとして共通の削減目標を設定し、さらなる水使用量削減に取り組んでいきます。

水使用量と売上高原単位2000年度比の推移(国内合計)

